

情報学学位プログラム博士後期課程（課程博士）の学位論文審査に関する内規

〔 令 和 2 年 4 月 8 日
制 定 〕

改正 令和 2年 7月 8日
改正 令和 3年 6月 9日
改正 令和 3年11月10日
改正 令和 4年 7月13日
改正 令和 5年 6月14日
改正 令和 6年 2月 7日
改正 令和 6年 4月10日
改正 令和 6年10月 9日
改正 令和 7年 1月 8日
改正 令和 7年 4月 9日

（趣旨）

- 1 情報学学位プログラム（以下「本学位プログラム」という。）博士後期課程（以下「博士後期課程」という。）における学位論文の審査（最終試験を含む。以下「論文審査等」という。）については、筑波大学大学院学則（平成16年法人規則第11号）、筑波大学学位規程（平成16年法人規程第48号）、筑波大学学位論文審査委員会に関する法人細則（平成16年法人細則第21号）、人間総合科学学術院学位論文等審査実施細則（人間総合科学学術院部局細則第4号）、人間総合科学学術院学位論文審査実施等に関する申合せ（令和2年5月22日人間総合科学学術院運営委員会決定）、その他特別の定めがあるもののほか、この内規の定めるところによる。

（論文審査の基準）

- 2 博士後期課程では、学位論文は当該研究分野で自立した研究者として研究活動を行うに必要な研究能力を示す論文であることが求められる。

（課程博士）

- 3 博士後期課程に在学する学生が学位論文の審査を申請し、当該学生の在学期間にその審査が終了し、かつ、最終試験に合格し、人間総合科学学術院運営委員会（以下「学術院運営委員会」という。）において、課程修了が認定された場合は、課程博士として認められる。

（早期修了）

- 4 大学院学則第44条第2項に基づき、早期修了を希望する者が早期修了の適用を受けるためには、次の各号に掲げる全ての要件を満たすとともに「人間総合科学学術院における早期修了の適用について（令和2年5月22日学術院運営委員会決定）」に基づき、学術院において学位論文の提出を認められなければならない。

- (1) 博士後期課程に1年（大学院設置基準第3条第3項又は第16条第1項ただし書の規定による在学期間をもって修士課程を修了した者、並びに専門職大学院設置基準第2条第2項又は第3条第1項の規定による標準修業年限が1年以上2年未満の専門職学位課程を修了した者にあ

っては、当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学し、博士後期課程在学中に課程修了に係る全ての審査を終了すること。

- (2) 大学院学則第44条第2項に定める「優れた研究業績を上げた者」であること。「優れた研究業績を上げた者」とは、当該学生の学位論文に係る研究水準が、標準修業年限で課程修了の認定を受ける者が到達する研究水準と同等以上の水準に達したと認められる者をいう。

(学位論文の申請要件)

- 5 博士の論文審査を受けるためには、中間発表を終了し、次項以下に定める学位申請予定学位論文予備審査委員会(以下「予備審査委員会」という。)による予備審査を受け、学位論文の審査について申請が可として認定されていなければならない。

(中間発表の要件)

- 6 博士後期課程に1年(早期修了希望の申出書を提出した者は6ヶ月程度)以上在学し、本博士後期課程在学中に投稿し、掲載または掲載予定として受理された学術雑誌論文1本以上を有していること。また、INFOSSとeAPRINの受講を完了していること。

(予備審査申請要件)

- 7 予備審査を受けるためには、次に掲げる全ての要件を満たしていなければならない。

- (1) 博士後期課程に3年以上在学した者、在学見込みの者又は早期修了希望の申出書を提出した者
- (2) 博士後期課程の修了要件の科目を10単位以上修得した者又は修得見込みの者
- (3) 学位申請予定学位論文が、研究指導担当教員から研究指導を受け、第8項に規定する学位申請予定学位論文の要件を満たすものとして、主研究指導教員及び1人以上の副研究指導教員の承諾を得ていること。
- (4) 中間発表を終了していること。
- (5) 本博士後期課程在学中に投稿された学術雑誌論文1本を含む2本以上の参考論文が掲載済み又は掲載予定として受理されていること。ただし、早期修了の適用を受けた者は、本博士後期課程在学中に投稿された学術雑誌論文1本と、1本以上の査読付学術雑誌論文又は2本以上の査読付国際会議論文が掲載済み又は掲載予定として受理されていること。
- (6) 主指導教員によるコンピテンス達成又は達成見込みの確認を受けた者
- (7) eAPRIN等の受講を完了していること。

(学位申請予定学位論文の要件)

- 8 学位申請予定学位論文は、次に掲げる全ての要件を満たしていなければならない。

- (1) 2本以上の参考論文を中心にまとめられたものであること。ここでいう「参考論文」とは、単著又は主たる著者として査読制度のある雑誌等に査読を受けて掲載又は掲載予定として受理された学位申請予定学位論文の参考となる論文である。参考論文は原則として学術雑誌論文であること。ただし、予備審査委員会が認める場合は、国際会議論文又は紀要論文も参考論文の一部とすることができる。2本以上の参考論文のうち1本は必ず本博士後期課程在学中に投稿された学術雑誌論文でなければならない。ただし、早期修了の場合は、学術雑誌論文2本以上又は学術雑誌論文1本と国際会議論文2本以上であること。

(2) 単著とし、日本語又は英語で書かれたものであること。

(予備審査提出書類)

9 予備審査を受けようとする者は、次に掲げる書類を添付の上、情報学学位プログラムリーダー（以下「プログラムリーダー」という。）に審査を願い出る。提出の方法等については別に定める。

- (1) 予備審査願（情一予1）1通
- (2) 学位申請予定学位論文（A4判用紙、様式・字体等は任意）5部
- (3) 学位申請予定学位論文の概要（日本語（情一予2）又は英語（情一予2英））1通
〔A4判用紙、日本語4,000字以内又は英語1,200語以内〕
- (4) 学位申請予定学位論文目録（情一予3）1通
- (5) 履歴書（情一予4）1通
- (6) 論文公正に関する確認書（日本語（情一予5）又は英語（情一予5英）
及び根拠書類（iThenticateの出力）各1通
- (7) 倫理審査に関する報告書（情一予6）1通
- (8) 承諾書（日本語（情一予7）又は英語（情一予7英））各1通
- (9) 2本以上の参考論文の別刷又はコピー 各5部
(掲載学術雑誌の編集規則のコピー等、査読付き論文であることが判定できる書類を添付)
- (10) その他予備審査の参考となる資料がある場合は各1部

(学位論文予備審査委員会)

10 予備審査を行わせるため、情報学学位プログラム教育会議運営委員会（以下「運営委員会」という。）に予備審査委員会を置く。

11 予備審査委員会は、受理された学位申請予定学位論文ごとに、その都度設置する。

12 予備審査委員会は、プログラムリーダーが予備審査願等関係書類を受理した後に開催される運営委員会の審議を経て設置される。

13 予備審査委員会は、申請者の学籍が継続することを条件として、申請者の在学又は休学の在籍状況にかかわらず、予備審査委員会の設置日から起算して1年間が経過する日又は審査終了日とのいずれか早い日まで存続する。

申請者が学籍を失った場合、予備審査委員会は直ちに解散する。

14 予備審査委員会の構成等は、次の各号のとおりとする。

- (1) 予備審査委員会は、主査1人及び副査4人の委員で構成し、そのうち3人以上は博士後期課程の研究指導担当の資格を有する教員とする。ただし、教授を1人以上含めること。また、運営委員会が必要と認めるときは、審査委員会を6人の委員で構成できる。
- (2) 主査は、予備審査申請者（以下「申請者」という。）の主研究指導教員とする。ただし、主研究指導教員が博士の学位を持たない場合は副査とし、主査には研究指導担当の資格を有し博士の学位を持つ教員を充てる。
- (3) 副査の推薦は、主査が行う。

- (4) 副査のうち1人以上は、申請者の主もしくは副研究指導教員とする。
- (5) 副査のうち1人は、本学大学院の他学位プログラム等の教員、他大学の大学院の教員、研究所等の教員（以下「学位プログラム外有識者」という。）を充てることができる。学位プログラム外有識者は、所属する組織で大学院5年一貫制博士課程又は後期3年博士課程の研究指導担当の資格を有すること。なお、学位申請予定学位論文における参考論文の共著者となっている者は、原則、学位プログラム外有識者に充てることはできない。
- (6) 主査は、予備審査委員会を招集し、その議長となる。
- (7) 予備審査委員会の主査又は副査にその任務を遂行することができない事由が生じた場合には、予備審査委員会はその旨を直ちにプログラムリーダーに報告し、運営委員会はこれに対する適切な措置を講じる。

（予備審査の手順等）

1 5 予備審査は、次の手順に従って行う。

- (1) 予備審査委員会は、学位論文の審査申請の可否について審査を行う。
- (2) 予備審査委員会は、学位論文の主要な点について申請者に発表させる。
- (3) 予備審査委員会は、委員の4人以上の可の判定をもって学位論文の審査申請を可と決定する。
- (4) 予備審査委員会の主査は、予備審査委員会の設置日から起算して1年間が経過する日までに、学位論文予備審査報告書（情一予8）により、予備審査結果をプログラムリーダーに報告する。

（運営委員会における予備審査の審議）

1 6 審査結果に基づき、プログラムリーダーは運営委員会に学位論文の審査申請の認定を提案し、運営委員会が当該申請の認定を行う。なお、運営委員会の審議において学位論文審査申請が可とされた日から起算して3か月を経過する日までに学位論文の申請が行われない場合は、当該論文にかかる予備審査の結果を無効とする。

（学位論文）

1 7 学位論文は、次に掲げる全ての要件を満たしていなければならない。

- (1) 本学位プログラムの予備審査委員会で学位論文の審査申請が可として認められた学位審査予定学位論文に基づいていること。
- (2) 単著とし、日本語又は英語で書かれたものであること。

（学位論文審査提出書類）

1 8 学位論文審査を受けようとする者（以下「学位申請者」という。）は、次に掲げる書類を添付の上、人間総合科学学術院長（以下「学術院長」という。）に審査を願い出る。提出の方法等については別に定める。

- (1) 学位論文審査願（情一本1） 1通
- (2) 学位論文 5部
- (3) 学位論文概要（日本語（情一本2）及び英語（情一本3）） 1通

[A4判用紙、日本語4,000字以内度及び英語1,200語以内]

ただし、論文の言語が英語の場合は英語のみ1通とする

- (4) 論文目録（情一本4） 1通
- (5) 履歴書（情一本5） 1通
- (6) インターネット公表に関する申出書（情一本6） 1通
- (7) 論文公正に関する確認書（日本語（情一本7）又は英語（情一本7英））及び根拠書類（iThenticateの出力） 各1通
- (8) 倫理審査に関する報告書（情一本8） 1通
- (9) 参考論文の別刷又はコピー 各5部

（予備審査申請時から、修正及び追加があった場合のみ提出）

（学位論文審査委員会）

1 9 人間総合科学学術院学位論文審査等実施細則（人間総合科学学術院部局細則第4号）第7条第3項の規定により学位論文審査委員会（以下「審査委員会」という。）を置く。

2 0 審査委員会は、受理された学位論文ごとに、その都度設置する。

2 1 審査委員会は、学位申請者の学籍が継続することを条件として、学位申請者の在学又は休学の在籍状況にかかわらず審査委員会の設置日から起算して1年間が経過する日又は審査終了日のいずれか早い日まで存続する。

学位申請者が学籍を失った場合、審査委員会は直ちに解散する。

2 2 審査委員会の構成は、次の各号のとおりとする。

- (1) 審査委員会は、主査1人及び4人の副査で構成し、そのうち3人以上は博士後期課程の研究指導担当の資格を有する教員とする。ただし、教授を1人以上含めること。また、運営委員会が必要と認めるときは、審査委員会を6人の委員で構成できる。
- (2) 主査は、学位申請者の主研究指導教員とする。主研究指導教員が博士の学位を持たない場合は副査とし、主査には研究指導担当の資格を有し博士の学位を持つ教員を充てる。
- (3) 審査委員会の副査の推薦は、主査が行う。
- (4) 副査のうち1人以上は、学位申請者の主もしくは副研究指導教員とする。
- (5) 副査のうち1人以上は、学位プログラム外有識者とする。学位プログラム外有識者は所属する組織で大学院5年一貫制博士課程又は後期3年博士課程の研究指導担当の資格を有すること。なお、学位論文における参考論文の共著者となっている者は、原則、学位プログラム外有識者に充てることはできない。
- (6) 審査委員会の主査又は副査にその任務を遂行することができない事由が生じた場合には、審査委員会はその旨を直ちに学術院長、学術院運営委員会及び運営委員会に報告し、運営委員会はこれに対する適切な措置を講じる。

（論文審査の手順）

2 3 論文審査は、次の手順に従って行う。

- (1) 審査委員会は、学位論文の評価項目に基づき合格又は不合格の判断を行う。
- (2) 審査委員会は、公開の学位論文発表会において、学位申請者に発表させる。発表は質疑応答時間を含めて60分程度とする。

- (3) 最終試験は、学位論文を中心として、その関連分野について口述又は筆記により行う。最終試験は非公開とし、時間は60分程度とする。
- (4) 審査委員会は、委員の4人以上の合格判定をもって合格と判定する。
- (5) 審査委員会は、学位論文発表会の日時及び場所を決定し、学位申請者に通知するとともに公示する。公示期間は7日間以上とする。
- (6) 主査は、審査委員会の設置日から起算して1年間が経過する日までに、学位論文審査報告書（審査2-1）、学位論文審査報告確認書（審査3-1）及び論文審査等報告書（審査4-1）により学位論文審査結果を学術院長に報告する。

（学位論文の評価項目）

2.4 学位論文の評価項目は以下のとおりとする。

- (1) 研究テーマの新奇性と意義
- (2) 先行研究の把握と理解
- (3) 研究方法の妥当性
- (4) 結論とそれに至る論理の妥当性
- (5) 結論の新奇性・独創性
- (6) 体裁・構成の適切さ
- (7) 文献・資料の適切な引用
- (8) 学術的貢献

（インターネット公表に関する審議）

2.5 学位申請者が「インターネット公表に関する申出書」において「公表できないやむを得ない事由」があると申し出た場合には、運営委員会はその申出の可否を判断し、承認された場合は、インターネット公表に関する承認書（情一本6承）を交付する。

（恒久保存用学位論文）

2.6 学位申請者は、恒久保存用学位論文データを学位授与日までにプログラムリーダーに提出しなければならない。

ただし、運営委員会がインターネット公表について「公表できないやむを得ない事由」に相当すると承認した場合には、全文公表に代えて公表する論文の要約を併せて提出するものとする。

（審査における利害関係者の排除）

2.7 学位プログラム外有識者の選任に当たっては、公正で透明な審査を実施する観点から、利害関係者が加わらないように留意する。

附 記

この内規は、令和2年4月8日から実施し、同年4月1日から適用する。

附 記

この内規は、令和2年7月8日から実施し、同年7月1日から適用する。

附 記

この内規は、令和3年6月9日から実施し、同年4月1日から適用する。

附 記

この内規は、令和3年11月10日から実施し、同年11月10日から適用する。

附 記

この内規は、令和4年7月13日から実施し、同年7月13日から適用する。

ただし、第6条に定める中間発表の要件における本博士後期課程在学中に投稿という要件部分については、令和5年度実施の中間発表から適用することとする。

附 記

この内規は、令和5年6月14日から実施し、同年6月14日から適用する。

附 記

この内規は、令和6年2月7日から実施し、同年2月7日から適用する。

附 記

この内規は、令和6年4月10日から実施し、同年4月10日から適用する。

附 記

この内規は、令和6年10月9日から実施し、同年10月9日から適用する。

附 記

この内規は、令和7年1月8日から実施し、同年1月8日から適用する。

附 記

この内規は、令和7年4月9日から実施し、同年4月9日から適用する。

主研究指導 教員印	副研究指導教員印

予 備 審 査 願

年 月 日

情報学学位プログラムリーダー 殿

人間総合科学学術院人間総合科学研究群
情報学学位プログラム
(博士後期課程)
学籍番号

氏名 印

情報学学位プログラム博士後期課程(課程博士)の学位論文審査に関する内規第8項の規定に基づき、下記の書類を提出いたしますので、審査願います。

記

1 学位申請予定学位論文	5 部
2 学位申請予定学位論文の概要(日本語又は英語)	1 通
3 学位申請予定学位論文目録	1 通
4 履歴書	1 通
5 論文公正に関する確認書及び 根拠書類(iThenticateの出力)	各1 通
6 倫理審査に関する報告書	1 通
7 承諾書	各1 通
8 参考論文の別刷又はコピー	各5 部

備考 1 申請者は、氏名を記載し、押印又は署名すること。

2 学位申請予定学位論文の作成にあたっては、「学位申請の手引(博士後期課程)」を参考にすること。

3 その他参考となる資料がある場合は、各1部提出すること。

情一予2

年　月　日提出

学位申請予定学位論文の概要（日本語）

筑波大学大学院

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 情報学学位プログラム (博士後期課程)	学籍番号		フリガナ 氏名	印
--	------	--	------------	---

論文題目

概要

概要のページ番号/概要の総ページ数

Abstract of Dissertation for Preliminary Review (English)

Graduate School, University of Tsukuba

Doctoral Program in Informatics, Degree Programs in Comprehensive Human Sciences, Graduate School of Comprehensive Human Sciences	Student ID Number		Name	Seal
---	----------------------	--	------	------

Title

Abstract

情一予3

年　月　日提出

学位申請予定学位論文目録

筑波大学大学院

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 情報学学位プログラム (博士後期課程)	学籍番号		フリガナ 氏名	印
論文題目				
参考論文				

備考

- 1 作成にあたっては、「学位申請の手引（博士後期課程）」を参考にすること。
- 2 論文の巻号等の表記は別刷又はそのコピーの表記に従うこと。

履歴書

年 月 日

(フリガナ)

氏名:

(ローマ字)

生年月日: 年 月 日 生(歳)

本籍(外国人の場合は国籍):

現住所: 〒 -

電話() -

学歴(大学以上):

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

職歴:

年 月 日 ~

年 月 日

年 月 日 ~

年 月 日

年 月 日 ~

年 月 日

上記のとおり相違ありません。

(自筆署名)

(課程博士)
(Doctoral Program)

指導教員確認印
Academic Advisor's
Confirmation Seal

年 月 日
Date: yyyy/mm/dd

論文公正に関する確認書
Certificate of Confirmation Regarding Academic Integrity

人間総合科学学術院長 殿
To the Executive Dean of the Graduate School of Comprehensive Human Sciences,

私は、現課程在籍中に研究倫理に関する教育（eAPRIN 又は eL CoRE）を受講しました。

I hereby confirm that I have completed the education program on research ethics (eAPRIN or eL CoRE) during my current course of study.

また、提出した学位論文について、指導教員の指導のもと論文剽窃チェックツール（iTThenticate）により確認を受けました。

Additionally, I have verified my submitted doctoral dissertation through the plagiarism-check tool (iTThenticate) under the guidance of my academic advisor.

剽窃・捏造等の不正行為は行っておりません。

I hereby affirm that I have not engaged in any form of academic misconduct, including plagiarism or fabrication.

人間総合科学学術院
Graduate School of Comprehensive Human Sciences

人間総合科学研究群
Degree Programs in Comprehensive Human Sciences

情報学学位プログラム
Doctoral Program in Informatics

学籍番号
Student ID Number:

氏名 _____
Name: _____
(自筆署名)
(Signature)

情一予5英

(課程博士)
(Doctoral Program)

指導教員確認印
Academic Advisor's
Confirmation Seal

年 月 日
Date: yyyy/mm/dd

論文公正に関する確認書
Certificate of Confirmation Regarding Academic Integrity

人間総合科学学術院長 殿
To the Executive Dean of the Graduate School of Comprehensive Human Sciences,

私は、現課程在籍中に研究倫理に関する教育（eAPRIN 又は eL CoRE）を受講しました。

I hereby confirm that I have completed the education program on research ethics (eAPRIN or eL CoRE) during my current course of study.

また、提出した学位論文について、指導教員の指導のもと論文剽窃チェックツール（iTThenticate）により確認を受けました。

Additionally, I have verified my submitted doctoral dissertation through the plagiarism-check tool (iTThenticate) under the guidance of my academic advisor.

剽窃・捏造等の不正行為は行っておりません。

I hereby affirm that I have not engaged in any form of academic misconduct, including plagiarism or fabrication.

人間総合科学学術院
Graduate School of Comprehensive Human Sciences

人間総合科学研究群
Degree Programs in Comprehensive Human Sciences

情報学学位プログラム
Doctoral Program in Informatics

学籍番号
Student ID Number:

氏 名 _____
Name: _____
(自筆署名)
(Signature)

年　月　日

情報学学位プログラムリーダー 殿

倫理審査に関する報告書

提出する学位申請予定学位論文について、以下の様にその記載内容について必要な倫理審査を受け、承認されていることを確認しました。

1. 論文に記載されている内容に倫理審査が必要なものが含まれているか

- いる
 いない (2、3は回答不要)

2. 承認を受けた倫理審査の実施機関と承認番号等を以下に記載すること

実施機関名 :

承認番号等 : (承認日 :)

3. 以下の事柄を確認し✓をいれること

- 論文提出者が、提出した論文に関連する全ての倫理審査に実施者等として氏名が登録されている。
 倫理審査の承認日は、論文に記載されている調査・実験の実施日より前である。
 論文に記載されている内容と倫理審査で承認されている内容の間に齟齬がない。(承認内容の全てが論文に記載されていても良いが、承認されている内容以外の倫理審査を受けるべき調査・実験が論文に記載されていてはならない。)

学位申請予定学位論文提出者

人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム (博士後期課程)

学籍番号:

氏 名: (署名又は記名押印)

主研究指導教員

所 属:

氏 名: (署名又は記名押印)

情一予 7

年 月 日

筑波大学長 殿

承諾者

印

承 諾 書

下記論文の成果を

氏が学位論文に使用することを承諾します。

なお、この論文を私の学位論文として使用しておらず、またこれからも私の学位論文に使用しません。

記

論 文 名 :

著 者 リ ス ト :

掲載誌名・発行所 :

巻・号・ページ :

発 行 年 :

注) 著者全員から承諾を得ること。

To President of University of Tsukuba

A person who consented: _____ (Signature)

Letters of Consent

I agree that _____ uses the results of the following paper in his or her dissertation.

In addition, this paper is not used as my degree dissertation, and it will not be used for my degree dissertation in the future either.

Title:

List of authors:

Publisher:

Volume, issue, page:

Year of publication:

Note: Be sure to obtain approval from all the authors.

学位プログラム リーダー印	主研究指導 教員印

学 位 論 文 審 査 願

年 月 日

人間総合科学学術院長 殿

筑波大学大学院人間総合科学学術院
 人間総合科学研究群
 情報学学位プログラム
 (博士後期課程)

学籍番号

氏名 _____ 印 _____

筑波大学学位規程第5条の規定により、博士(情報学)の学位論文(5部)に下記の書類を添えて提出しますので、審査願います。

記

- | | |
|--|------|
| 1 学位論文概要 (日本語) | 1通 |
| 2 学位論文概要 (英語) | 1通 |
| 3 論文目録 | 1通 |
| 4 履歴書 | 1通 |
| 5 インターネット公表に関する申出書 | 1通 |
| 6 論文公正に関する確認書及び
根拠書類 (iThenticate の出力) | 各 1通 |
| 7 倫理審査に関する報告書 | 1通 |
| 8 参考論文の別刷又はコピー
(予備審査申請時から、修正及び追加があった場合のみ提出) | |

備考 1 申請者は、氏名を記載し、押印又は署名すること。

2 学位論文の作成にあたっては、「学位申請の手引(博士後期課程)」を参考にすること。

3 その他学位審査の参考となる資料がある場合は、1部提出すること。

情一本2

年　月　日提出

学位論文概要（日本語）

筑波大学大学院

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 情報学学位プログラム (博士後期課程)	学　位	学籍番号	フリガナ 氏　名	印
	博士（情報学）			

論文題目

概要

概要のページ番号/概要の総ページ数

Abstract of Dissertation (in English)

Graduate School, University of Tsukuba

Doctoral Program in Informatics, Degree Programs in Comprehensive Human Sciences, Graduate School of Comprehensive Human Sciences	Degree	Student ID Number	Name	<u>Seal</u>
	Doctor of Philosophy in Informatics			

Title

Abstract

論 文 目 錄

筑波大学大学院

人間総合科学学術院	人間総合科学研究群 情報学学位プログラム	学籍番号	フリガナ 氏名	印
論 文				
1 題 目				
2 印刷公表の方法及び時期				
参考論文				

- 備考) 1 論文題目が英語の場合、日本語訳を（　）を付して記入すること。
 2 参考論文には学位論文の要件となった論文を記入すること。
 論文の巻号等の表記は別刷又はそのコピーの表記に従うこと。
 3 参考論文の著者のうち、申請者本人の氏名に下線を付すこと。
 4 論文博士の場合、学籍番号は記入しなくてよい。
 5 作成にあたっては、「学位申請の手引（博士後期課程）」を参考にすること。

履歴書

年 月 日

(フリガナ)

氏名 :

(ローマ字)

生年月日 : 年 月 日 生 (歳)

本籍 (外国人の場合は国籍) :

現住所 : 〒 -

電話 () -

学歴 (大学以上) :

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

職歴 :

年 月 日 ~

年 月 日

年 月 日 ~

年 月 日

年 月 日 ~

年 月 日

上記のとおり相違ありません。

(自筆署名)

別紙様式 1
Appended Form 1

学位プログラム リーダー印

インターネット公表に関する申出書
Request for Non-disclosure / Disclosure on the Internet of My Dissertation

年 月 日

Date: 20xx-MM-DD

筑波大学長 殿

To: President of the University of Tsukuba

筑波大学大学院

University of Tsukuba Graduate School of:

博士後期課程 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 情報学学位プログラム

Degree Program in

Doctoral Program in

(*博士後期課程 学位プログラム)

(*Ph. D. Program in)

年度入学 学籍番号

Enrollment Year: Student ID Number:

(住所 (論文博士のみ記載))

Address (*For the candidate of the doctoral degree by thesis only):

氏名 印

Signature: Seal

[Full Name (Type):]

博士学位論文のインターネット公表に関して、下記のとおり申し出ます。

I hereby request that my Ph.D. dissertation to be disclosed or not be disclosed on the Internet as is stated below.

記
Details

1 論文の全文をインターネット公表することについて

Regarding disclosure on the Internet of the full text of the dissertation,

特に問題はない

There is no problem at all.

公表に支障がある (チェックした者は以下の事項にも回答すること)

To release my dissertation would be difficult for me.

(Please answer the following, if you have any problem.)

2 論文の全文をインターネット公表できないやむを得ない事由

The full text of my dissertation cannot be disclosed on the Internet due to the following unavoidable reasons.

*Please tick the boxes below where appropriate.

It contains:

立体形状による表現を含むため

Three-dimensional materials

著作権保護、個人情報保護等の理由による

Copyrighted materials belonging to others and / or personal information

書籍などの出版刊行予定のため

Materials to be scheduled for publication in specialized books, etc.

学術ジャーナルへの投稿を予定しているため

Materials to be scheduled for submission to academic journals

特許等の申請による

Patent-pending materials

その他 ()

Others

3 上記事由の詳細

Give detailed explanations; include the corresponding pages, name of the publishers/magazines/journals, and date of issues/publications.

(該当するページや出版社、雑誌、ジャーナル等の名称とその発行または掲載時期などを含めて、詳細な理由を記載すること)

4 やむを得ない事由の解消（予定）時期

解消しない 年 月頃

(Estimated) Date of resolution of the unavoidable reason

It would not be resolved. It would be resolved by about 20xx-MM.

(課程博士)
(Doctoral Program)

指導教員確認印
Academic Advisor's
Confirmation Seal

年 月 日
Date: yyyy/mm/dd

論文公正に関する確認書
Certificate of Confirmation Regarding Academic Integrity

人間総合科学学術院長 殿
To the Executive Dean of the Graduate School of Comprehensive Human Sciences,

私は、現課程在籍中に研究倫理に関する教育（eAPRIN 又は eL CoRE）を受講しました。

I hereby confirm that I have completed the education program on research ethics (eAPRIN or eL CoRE) during my current course of study.

また、提出した学位論文について、指導教員の指導のもと論文剽窃チェックツール（iTThenticate）により確認を受けました。

Additionally, I have verified my submitted doctoral dissertation through the plagiarism-check tool (iTThenticate) under the guidance of my academic advisor.

剽窃・捏造等の不正行為は行っておりません。

I hereby affirm that I have not engaged in any form of academic misconduct, including plagiarism or fabrication.

人間総合科学学術院
Graduate School of Comprehensive Human Sciences

人間総合科学研究群
Degree Programs in Comprehensive Human Sciences

情報学学位プログラム
Doctoral Program in Informatics

学籍番号
Student ID Number:

氏 名 _____
Name: _____
(自筆署名)
(Signature)

情一本 7 英

(課程博士)
(Doctoral Program)

指導教員確認印
Academic Advisor's
Confirmation Seal

年 月 日
Date: yyyy/mm/dd

論文公正に関する確認書
Certificate of Confirmation Regarding Academic Integrity

人間総合科学学術院長 殿
To the Executive Dean of the Graduate School of Comprehensive Human Sciences,

私は、現課程在籍中に研究倫理に関する教育（eAPRIN 又は eL CoRE）を受講しました。

I hereby confirm that I have completed the education program on research ethics (eAPRIN or eL CoRE) during my current course of study.

また、提出した学位論文について、指導教員の指導のもと論文剽窃チェックツール（iTThenticate）により確認を受けました。

Additionally, I have verified my submitted doctoral dissertation through the plagiarism-check tool (iTThenticate) under the guidance of my academic advisor.

剽窃・捏造等の不正行為は行っておりません。

I hereby affirm that I have not engaged in any form of academic misconduct, including plagiarism or fabrication.

人間総合科学学術院
Graduate School of Comprehensive Human Sciences

人間総合科学研究群
Degree Programs in Comprehensive Human Sciences

情報学学位プログラム
Doctoral Program in Informatics

学籍番号
Student ID Number:

氏 名 _____
Name: _____
(自筆署名)
(Signature)

年　月　日

人間総合科学学術院長 殿

倫理審査に関する報告書

提出する学位論文について、以下の様にその記載内容について必要な倫理審査を受け、承認されていることを確認しました。

1. 論文に記載されている内容に倫理審査が必要なものが含まれているか

- いる
 いない (2、3は回答不要)

2. 承認を受けた倫理審査の実施機関と承認番号等を以下に記載すること

実施機関名 :

承認番号等 : (承認日 :)

3. 以下の事柄を確認し✓をいれること

- 論文提出者が、提出した論文に関連する全ての倫理審査に実施者等として氏名が登録されている。
 倫理審査の承認日は、論文に記載されている調査・実験の実施日より前である。
 論文に記載されている内容と倫理審査で承認されている内容の間に齟齬がない。(承認内容の全てが論文に記載されていても良いが、承認されている内容以外の倫理審査を受けるべき調査・実験が論文に記載されていてはならない。)

学位論文提出者

人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム(博士後期課程)

学籍番号:

氏 名: (署名又は記名押印)

主研究指導教員

所 属:

氏 名: (署名又は記名押印)